

インターネット上の情報の信ぴょう性について

インターネットは、とても便利な情報収集ツールです。24時間いつでも最新の情報を入手することができますし、キーワードを打ち込んで検索すれば、それに関連した情報を見ることができます。しかしインターネット上の情報には、信ぴょう性が低いものもあるという注意点もあります。

インターネット上には、嘘や間違った情報もある

インターネットは誰でも自由に情報を発信することができるメディアです。新聞やテレビなどとは違い、誰でも情報発信者になることができますし、その情報が正しいかチェックされることもありません。そのため、インターネット上には、嘘や間違った情報もあるのです。

(過去の震災時にインターネットに投稿された情報の例)

名無し@××××××

【拡散希望】

〇〇の爆発により、□□地方に有害物質が雨と一緒に降ります。

体が雨に接触しないようにしてください！



(投稿を拡散する人たち)

「大変だ!」「早く拡散しないと!」



「□□地方」

(混乱する被災地の人たち)

「どうしよう……」「家から出られないよ……」

上記の例で投稿を拡散した人たちは、決して悪意があったわけではありません。むしろ、被災地の人たちの健康に関わる重大な情報だから急いで広めないと、という善意から拡散しています。しかし、その情報が本当に正しいものかという確認をせずに広めたため、余計に被災地の人たちを混乱させることになってしまったのです。

インターネットを使って情報収集するときは、以下のような点に気をつけましょう

- ・正しいかどうか分からない情報は絶対に広めない
- ・その情報が古いものではないか、情報が掲載された日付を確認する
- ・情報が掲載されているサイトや、情報の提供元が信頼できるか確認する
- ・インターネットだけで情報を判断せず、新聞や書籍、テレビなど複数のメディアから情報を集める

インターネット上には嘘や間違った情報もあるということを頭に入れ、インターネット上の情報をそのままのみにするのではなく、自分で情報の正しさを確かめるようにしましょう。